

広島製産品使用結果報告書〔土木工事－対象資材①用〕(H24.1改訂版)

対象資材①:コンクリート二次製品

工 事 担 当 課 : ○○区土木課
工 事 名 : ○○1区○号線道路改良その他工事
工 事 箇 所 : ○○区○○町一丁目外
請 負 金 額 (d) : 30,000,000
工 期 : 平成21年5月1日 ～平成22年3月10日

様式－44－1

広島製産品対象資材使用結果												広島製産品使用額確認	
※使用した建設資材のうち、対象資材①に該当する資材をすべて記入します。													
① 分類 コード	② 資材名	③ 資材名 (設計名称)	④ 規格 (設計規格)	⑤ 数量 (設計数量)	⑥ 単位 (設計単位)	⑦ 購入単価	⑧ 金額	製造業者			⑫ 購入先	⑬ ○:広島製産品 ×:広島製産品以外 ※左記の製造業者に より確認する	⑭ 広島製産品使用額
								⑨ 会社名 (製造工場名)	⑩ 本社所在地 (市町村名まで記入)	⑪ 工場所在地 (市町村名まで記入)			
10	側溝類	鉄筋コンクリートU型	jisA5372附5 360×360×600	600	個	1,200	720,000	〇〇会社 (本社工場)	広島市	広島県安芸高田市	△△資材	○	720,000
10	側溝類	自由勾配側溝	300×400×2000	400	個	9,000	3,600,000	△△工業 (安佐北工場)	岡山県岡山市	広島市	△△資材	○	3,600,000
10	柵、樹蓋	雨水用柵		10	個	4,000	40,000	△△工業 (安佐北工場)	岡山県岡山市	広島市	△△資材	○	40,000
10	境界ブロック類	歩車道境界ブロック	jisA5371 150*170*200*600	800	本	600	480,000	△△工業 (江津工場)	岡山県岡山市	島根県江津市	△△資材	×	0
請負業者記入欄													
下記対象資材一覧より該当するコード		設計書の該当資材名を全て記入		設計書の該当資材の規格を記入		設計書の該当資材の単位を記入		製造会社の本社所在地を記入		使用した資材の製造工場の所在地を記入		資材の購入会社名を記入	
下記対象資材一覧より該当する資材名を記入		設計書の該当資材の数量を全て記入		請負業者の資材購入単価を全て記入		資材の製造会社及び(製造工場)を全て記入						広島製産品であれば⑧金額を記入	
</													

【業者記入欄】
・対象資材①に該当する資材があれば全て記入する。

注)対象資材②に該当する資材は別表(様式－44－2)に記入する。

請負業者記入欄

対象資材①一覧(土木工事)		
分類 コード	資材区分	資材名
10	コンクリート二次製品	側溝類
		境界ブロック類
		柵、樹蓋
		積(張)ブロック類
		擁壁類
		重圧管
		ボックスカルバート
		インターロッキングブロック

資材を追加しました。

【監督員確認】
・監督員は、業者記入欄に間違いがないか、設計書、証明資料等により確認行う。
・計算結果に間違いがないかも確認する。
・請負金額比率は請負金額(d)が未入力の場合にエラーになるので注意すること。

判定	1 評価基準判定	使用率	評価判定結果	
		(c)=(b)/(a)	使用率(c)が80%以上:評価する 使用率(c)が80%未満:評価しない	
	90.1%		評価判定⇒	評価する
	2 加点数判定	請負金額比率	加点数判定結果	
		(e)=(b)/(d)	請負金額比率(e)が3%以上:+5.0の加点 請負金額比率(e)が3%未満:+2.5の加点	
14.5%		● 加点数判定⇒	5.0	

加点評価を行うかを判定する。
例では、対象資材①のうち広島製産品の使用率が80%以上(90.1%)なので加点評価する。

加点数をいくりにするかを判定する。
例では、対象資材①の請負金額比率が3%以上(14.5%)なので、+5.0点の加点となる。(評定点においては+5.0×0.2=1.0点となる。)

工 事 担 当 課 : ○○区土木課
工 事 名 : ○○1区○号線道路改良その他工事
工 事 箇 所 : ○○区○○町一丁目外
請 負 金 額 (d) : 30,000,000
工 期 : 平成21年5月1日 ~平成22年3月10日

様式-44-2

広島製産品使用結果報告書〔土木工事-対象資材②用〕

対象資材②:環境保全型ブロック、マンホール、鋳鉄製マンホール蓋(防護蓋)、のり枠フレーム

広島製産品対象資材使用結果												広島製産品使用額確認	
※使用した建設資材のうち、対象資材②に該当する資材をすべて記入します。													
① 分類 コード	② 資材名	③ 資材名 (設計名称)	④ 規格 (設計規格)	⑤ 数量 (設計数量)	⑥ 単位 (設計単位)	⑦ 購入単価	⑧ 金額	製造業者			⑫ 購入先	⑬ ○:広島製産品 ×:広島製産品以外 ※左記の製造業者に より確認する	⑭ 広島製産品使用額
								⑨ 会社名 (製造工場名)	⑩ 本社所在地 (市町村名まで記入)	⑪ 工場所在地 (市町村名まで記入)			
30	鋳鉄製マンホール蓋 (防護蓋)	マンホール鉄蓋	T-14・汚水(市規格品)	5	組	40,000	200,000	〇〇会社 (本社工場)	岡山県倉敷市	岡山県倉敷市	△△資材	×	0
30	組立式マンホール	マンホールS-1		1	か所	150,000	150,000	〇〇会社 (広島工場)	山口県宇部市	広島市	△△資材	○	150,000
30	組立式マンホール	マンホールS-2		1	か所	145,000	145,000	〇〇会社 (広島工場)	山口県宇部市	広島市	△△資材	○	145,000
30	組立式マンホール	マンホールS-3		1	か所	140,000	140,000	〇〇会社 (広島工場)	山口県宇部市	広島市	△△資材	○	140,000
30	組立式マンホール	マンホールS-4		1	か所	135,000	135,000	〇〇会社 (広島工場)	山口県宇部市	広島市	△△資材	○	135,000
30	組立式マンホール	マンホールS-5		1	か所	147,000	147,000	〇〇会社 (広島工場)	山口県宇部市	広島市	△△資材	○	147,000
●本件工事で、対象資材がいくらあったか (Aの計)													
●本件工事で、対象資材のうち実際に使用した 広島製産品がいくらあったか(Bの計)													
金額計(a)							917,000	広島製産品使用額計(b)					717,000

【業者記入欄】
・対象資材②に該当する資材があれば全て記入する。

注)対象資材①に該当する資材は別表(様式-44-1)に記入する。

対象資材②一覧(土木工事)		
分類 コード	資材区分	資材名
20	河川資材	環境保全型ブロック
30	マンホール	組立式マンホール 鋳鉄製マンホール蓋(防護蓋)
40	法面材	のり枠フレーム

【監督員確認】
・監督員は、業者記入欄に間違いがないか、設計書、証明資料等により確認行う。
・計算結果に間違いがないかも確認する。
・請負金額比率は請負金額(d)が未入力の場合にエラーになるので注意すること。

判定	1 評価基準判定	使用率	評価判定結果	
		(c)=(b)/(a)	使用率(c)が50%以上:評価する 使用率(c)が50%未満:評価しない	
		78.2%	● 評価判定⇒	評価する
	2 加点数判定	請負金額比率	加点数判定結果	
		(e)=(b)/(d)	請負金額比率(e)が3%以上:+5.0の加点 請負金額比率(e)が3%未満:+2.5の加点	
		2.4%	● 加点数判定⇒	2.5

加点点評価を行うかを判定する。
例では、対象資材②のうち広島製産品の使用率が50%以上(78.2%)なので加点点評価する。

加点点数をいくらにするかを判定する。
例では、対象資材②の請負金額比率が3%未満(2.4%)なので、+2.5点の加点点となる。(評定点においては+2.5×0.2=0.5点となる。)

工 事 担 当 課 : ○○課
工 事 名 : ○○○○新築工事
工 事 箇 所 : ○○区○○町一丁目
請 負 金 額 (d) : 15,000,000
工 期 : 平成21年5月1日 ~ 平成22年3月10日

様式-44-3

広島製産品使用結果報告書〔建築工事-対象資材①用〕(H24.1改訂版)

対象資材①: コンクリート二次製品、建築用ブロック

広島製産品対象資材使用結果											広島製産品使用額確認		
※使用した建設資材のうち、対象資材①に該当する資材をすべて記入します。													
① 分類 コード	② 資材名	③ 摘要	④ 数量 (設計数量)	⑤ 単位 (設計単位)	⑥ 購入単価	⑦ 金額	製造業者			⑪ 購入先	⑫ ○: 広島製産品 ×: 広島製産品以外 ※左記の製造業者に より確認する	⑬ 広島製産品使用額	
							⑧ 会社名 (製造工場名)	⑨ 本社所在地 (市町村名まで記入)	⑩ 工場所在地 (市町村名まで記入)				
110	車止めブロック	コンクリート W=600	4	か所	1,200	A4,800	〇〇会社 (岩国工場)	山口県下関市	山口県岩国市	□□資材	×	B0	
120	建築用ブロック	補強コンクリートブロック帳壁 厚さ100	7.0	m2	5,000		〇△会社 (廿日市工場)	広島市	廿日市	△△資材	○		35,000
請負業者記入欄													
下記対象資材一覧 より該当するコード		公開数量書(参考)の摘要を全 て記入		公開数量書(参考)の 該当資材の単位を記 入		製造会社の本社 の所在地を記入		使用した資材の製 造工場の所在地を 記入		資材の購入会社名 を記入		広島製産品であれば⑦ 金額を記入	
下記対象資材一覧 より該当する資材 名を記入		公開数量書(参考)の該 当資材の数量を全て記 入		請負業者の資材購入単 価を全て記入		資材の製造会社及び(製造 工場)を全て記入		広島製産品を使用したかどうかを確認す る。 ⑨本社所在地または⑩工場所在地が広 島市であれば広島製産品に該当する。					
金額計(a)						39,800	●本件工事で、対象資材がいくらあったか (Aの計)					●本件工事で、対象資材のうち実際に使用した 広島製産品がいくらあったか(Bの計)	
金額計(a)						39,800	広島製産品使用額計(b)					35,000	

対象資材①一覧(建築工事)		
分類 コード	資材区分	資材名
110	コンクリート二次製品	側溝類
		境界ブロック類
		車止めブロック
		柵、柵蓋
		インターロッキングブロック
120	組積材	建築用ブロック

【監督員確認】
・監督員は、業者記入欄に間違いがないか、設計書、証明資料等により確認行う。
・計算結果に間違いがないかも確認する。
・請負金額比率は請負金額(d)が未入力の場合にエラーになるので注意すること。

判定	1 評価基準判定	使用率	評価判定結果	
		(c)=(b)/(a)	使用率(c)が80%以上: 評価する 使用率(c)が80%未満: 評価しない	
	87.9%	●●	評価判定⇒	評価する
	2 加点数判定	請負金額比率	加点数判定結果	
		(e)=(b)/(d)	請負金額比率(e)が3%以上: +5.0の加点 請負金額比率(e)が3%未満: +2.5の加点	
0.2%	●	加点数判定⇒	2.50	

加点評価を行うかを判定する。
例では、対象資材①のうち広島製産品の使用率が80%以上(81.0%)なので加点評価する。

加点数をいくりにするかを判定する。
例では、対象資材①の請負金額比率が3%未満(0.2%)なので、+2.5点の加点となる。(評定点においては+2.5×0.2=0.5点となる。)

【業者記入欄】
・対象資材①に該当する資材があれば全て記入する。

注) 対象資材②に該当する資材は別表(様式-44-4)に記入する。

資材を追加しました。

工 事 担 当 課 : ○○課
工 事 名 : ○○○○新築工事
工 事 箇 所 : ○○区○○町一丁目
請 負 金 額 (d) : 16,000,000
工 期 : 平成21年5月1日 ~平成22年3月10日

様式-44-4

広島製産品使用結果報告書〔建築工事-対象資材②用〕

対象資材②:鋼製建具

広島製産品対象資材使用結果												広島製産品使用額確認				
※使用した建設資材のうち、対象資材②に該当する資材をすべて記入します。																
① 分類 コード	② 資材名	③ 摘要		④ 数量 (設計数量)	⑤ 単位 (設計単位)	⑥ 購入単価	⑦ 金額	製造業者			⑪ 購入先	⑫ ○:広島製産品 ×:広島製産品以外 ※左記の製造業者に より確認する	⑬ 広島製産品使用額			
								⑧ 会社名 (製造工場名)	⑨ 本社所在地 (市町村名まで記入)	⑩ 工場所在地 (市町村名まで記入)						
130	鋼製建具	SD-1片開き戸	付属金物一式 W900×H2000	2	か所	55,000	110,000	〇〇会社 (本社工場)	広島市	広島市	△△資材	○	110,000			
130	鋼製建具	SD-2両開き戸	付属金物一式 W1155×H2015	1	か所	70,000	70,000	〇〇会社 (本社工場)	広島市	広島市	△△資材	○	70,000			
130	鋼製建具	SD-3引き戸付片開き戸	付属金物一式 W1475×H2460	1	か所	170,000	170,000	〇〇会社 (本社工場)	広島市	広島市	△△資材	○	170,000			
130	鋼製建具	SD-4片開き戸	付属金物一式 W600×H1840	2	か所	50,000	100,000	△〇会社 (広島工場)	東広島市	広島市	△△資材	○	100,000			
130	鋼製建具	SD-5片開き戸	付属金物一式 W600×H1750	2	か所	45,000	90,000	△〇会社 (広島工場)	東広島市	広島市	△△資材	○	90,000			
130	鋼製建具	SW-1目違い窓	付属金物一式 W200×H800	1	か所	15,000	15,000	〇△会社 (岡山工場)	東京都	岡山県岡山市	□□資材	×	0			
請 負 業 者 記 入 欄	下記対象資材一覧 より該当するコード		公開数量書(参考)の摘要を 全て記入		公開数量書(参考)の 該当資材の単位を記 入			製造会社の本社 の所在地を記入		使用した資材の製 造工場の所在地を 記入		資材の購入会社名 を記入		広島製産品であれば⑦ 金額を記入		
	下記対象資材一覧 より該当する資材 名を記入		公開数量書(参考)の該 当資材の数量を全て記 入		請負業者の資材購入単 価を全て記入		資材の製造会社及び(製造 工場)を全て記入				広島製産品を使用したかどうかを確認す る。 ⑨本社所在地または⑩工場所在地が広 島市であれば広島製産品に該当する。					
													●本件工事で、対象資材がいくらあったか (①の計)		●本件工事で、対象資材のうち実際に使用した 広島製産品がいくらあったか(⑬の計)	
	金額計(a)						555,000	広島製産品使用額計(b)						540,000		

【業者記入欄】
・対象資材②に該当する資材があれば全て記入する。

注)対象資材①に該当する資材は別表(様式-44-3)に記入する。

対象資材②一覧(建築工事)		
分類 コード	資材区分	資材名
130	鋼製建具	鋼製建具

【監督員確認】
・監督員は、業者記入欄に間違いないか、設計書、証明資料等により確認行う。
・計算結果に間違いないかも確認する。
・請負金額比率は請負金額(d)が未入力の場合にエラーになるので注意すること。

判定	1 評価基準判定	使用率	評価判定結果	
		(c)=(b) / (a)	使用率(c)が50%以上:評価する 使用率(c)が50%未満:評価しない	
	97.3%	評価判定⇒	評価する	
	2 加点数判定	請負金額比率	加点数判定結果	
		(e)=(b) / (d)	請負金額比率(e)が3%以上:+5.0の加点 請負金額比率(e)が3%未満:+2.5の加点	
3.4%	加点数判定⇒	5.0		

加点評価を行うかを判定する。
例では、対象資材②のうち広島製産品の使用率が50%以上(97.3%)なので加点評価する。

加点数をいくらにするかを判定する。
例では、対象資材②の請負金額比率が3%以上(3.4%)なので、+5.0点の加点となる。(評定点においては+5.0×0.2=1.0点となる。)

工 事 担 当 課 : ○○課
工 事 名 : ○○○○冷暖房その他設備工事
工 事 箇 所 : ○○区○○町一丁目
請 負 金 額 (d) : 60,000,000
工 期 : 平成21年5月1日 ~平成22年3月10日

様式-44-5

広島製産品使用結果報告書〔設備工事-対象資材①用〕

対象資材①:コンクリート二次製品(外灯基礎ブロック、柵)、配電盤類、矩形ダクト

広島製産品対象資材使用結果												広島製産品使用額確認			
※使用した建設資材のうち、対象資材①に該当する資材をすべて記入します。															
① 分類 コード	② 資材名	③ 摘要	④ 数量 (設計数量)	⑤ 単位 (設計単位)	⑥ 購入単価	⑦ 金額	製造業者			⑪ 購入先	⑫ ○:広島製産品 ×:広島製産品以外 ※左記の製造業者に より確認する	⑬ 広島製産品使用額			
							⑧ 会社名 (製造工場名)	⑨ 本社所在地 (市町村名まで記入)	⑩ 工場所在地 (市町村名まで記入)						
210	柵	インパート柵S-450 850mmまで	3	個	45,000	135,000	〇〇会社 (本社工場)	広島市	広島市	〇×建材	〇	135,000			
210	柵	インパート柵S-600 900mmまで	2	個	65,000	130,000	〇〇会社 (本社工場)	広島市	広島市	〇×建材	〇	130,000			
210	柵	ため柵S-350 450mm	1	個	35,000	35,000	〇〇会社 (本社工場)	広島市	広島市	〇×建材	〇	35,000			
230	矩形ダクト	アングルフランジ工法ダクト(低圧ダクト) 1.2mm(2200<)	50	m ²	5,200	260,000	△〇会社 (北広島工場)	広島市	広島県北広島町	△△ダクト	〇	260,000			
230	矩形ダクト	共板フランジ工法ダクト 0.5mm(≤450)	65	m ²	3,000	195,000	△〇会社 (北広島工場)	広島市	広島県北広島町	△△ダクト	〇	195,000			
230	矩形ダクト	共板フランジ工法ダクト 0.6mm(450< ≤750)	5	m ²	3,100	15,500	〇△会社 (周南工場)	山口県山口市	山口県周南市	□□ダクト工業	×	0			
請 負 業 者 記 入 欄	下記対象資材一覧 より該当するコード		公開数量書(参考)の摘要を 全て記入		公開数量書(参考)の 該当資材の単位を記入		製造会社の本社 の所在地を記入		使用した資材の製 造工場の所在地を 記入		資材の購入会社名 を記入		広島製産品であれば⑦ 金額を記入		
	下記対象資材一覧 より該当する資材 名を記入		公開数量書(参考)の該 当資材の数量を全て記 入		請負業者の資材購入単 価を全て記入		資材の製造会社及び(製造 工場)を全て記入		広島製産品を使用したかどうかを確認す る。 ⑨本社所在地または⑩工場所在地が広 島市であれば広島製産品に該当する。					●本件工事で、対象資材のうち実際に使用した 広島製産品がいくらあったか(⑬の計)	
	金額計(a)						770,500	広島製産品使用額計(b)					755,000		

【業者記入欄】
・対象資材①に該当する資材があれば全て記入する。

注)対象資材②に該当する資材は別表(様式-44-6)に記入する。

請負業者記入欄

対象資材①一覧(設備工事)		
分類コード	資材区分	資材名
210	コンクリート二次製品	外灯基礎ブロック
		柵
220	配電盤類	配電盤
		分電盤
		制御盤
230	矩形ダクト	矩形ダクト

【監督員確認】
・監督員は、業者記入欄に間違いがないか、設計書、証明資料等により確認行う。
・計算結果に間違いがないかも確認する。
・請負金額比率は請負金額(d)が未入力の場合にエラーになるので注意すること。

判定	1 評価基準判定	使用率	評価判定結果	
		(c)=(b) / (a)	使用率(c)が80%以上:評価する 使用率(c)が80%未満:評価しない	
	98.0%	評価判定⇒	評価する	
	2 加点数判定	請負金額比率	加点数判定結果	
		(e)=(b) / (d)	請負金額比率(e)が3%以上:+5.0の加点 請負金額比率(e)が3%未満:+2.5の加点	
1.3%	加点数判定⇒	2.5		

加点点評価を行うかを判定する。
例では、対象資材①のうち広島製産品の使用率が80%以上(98.0%)なので加点点評価する。

加点点数をいくらにするかを判定する。
例では、対象資材①の請負金額比率が3%未満(1.3%)なので、+2.5点の加点点となる。(評定点においては+2.5×0.2=0.5点となる。)

工 事 担 当 課 : ○○課
工 事 名 : ○○○○電気設備工事
工 事 箇 所 : ○○区○○町一丁目
請 負 金 額 (d) : 20,000,000
工 期 : 平成21年5月1日 ~平成22年3月10日

様式-44-6

広島製産品使用結果報告書〔設備工事-対象資材②用〕

対象資材②:コンクリート二次製品(ハンドホール、コンクリート電柱)

広島製産品対象資材使用結果											広島製産品使用額確認			
※使用した建設資材のうち、対象資材②に該当する資材をすべて記入します。														
① 分類 コード	② 資材名	③ 摘要	④ 数量 (設計数量)	⑤ 単位 (設計単位)	⑥ 購入単価	⑦ 金額	製造業者			⑪ 購入先	⑫ ○:広島製産品 ×:広島製産品以外 ※左記の製造業者に より確認する	⑬ 広島製産品使用額		
							⑧ 会社名 (製造工場名)	⑨ 本社所在地 (市町村名まで記入)	⑩ 工場所在地 (市町村名まで記入)					
210	ハンドホール	OH-60 B1 0. 2m3	4	基	70,000	A	280,000	〇〇会社 (安芸高田工場)	広島市	広島県安芸高田市	△△資材	○	280,000	
210	ハンドホール	OH-60 A1 0. 2m3	1	基	50,000		50,000	〇〇会社 (安芸高田工場)	広島市	広島県安芸高田市	△△資材	○	50,000	
210	ハンドホール	OH-90 B2 0. 2m3	1	基	100,000		100,000	〇〇会社 (安芸高田工場)	広島市	広島県安芸高田市	△△資材	○	B	100,000
210	ハンドホール	OH-120 B2 0. 2m3	1	基	150,000		150,000	〇△会社 (倉敷工場)	岡山県岡山市	岡山県倉敷市	□□資材	×		0
210	コンクリート電柱	10m-19cm-3. 5kN	1	本	200,000		200,000	△〇会社 (広島工場)	山口県山口市	広島市	○×資材	○		200,000
請 負 業 者 記 入 欄	下記対象資材一覧 より該当するコード	公開数量書(参考)の摘要 を全て記入	公開数量書(参考)の 該当資材の単位を記 入		公開数量書(参考)の該 当資材の数量を記入		製造会社の本社の 所在地を記入		使用した資材の製 造工場の所在地を 記入		資材の購入会社名 を記入	広島製産品であれば⑦ 金額を記入		
	下記対象資材一覧 より該当する資材 名を記入	公開数量書(参考)の該 当資材の数量を記入		請負業者の資材購入単 価を全て記入		資材の製造会社及び(製造 工場)を全て記入		●本件工事で、対象資材がいくらあったか (Aの計)		●本件工事で、対象資材のうち実際に使用した 広島製産品がいくらあったか(Bの計)				
	金額計(a)					780,000	広島製産品使用額計(b)					630,000		